SONY

4-100-596-**01** (1)

壁寄せスタンド

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

この壁寄せスタンドは、ソニー製の指定機器専用です。下記指定機器以外には使わないでください。
棚板には、メディアレシーバー、DVDプレーヤーやビデオデッキなどを収納するように設計されています。

指定機器：液晶デジタルテレビ
（KDL-L32HX2/KDL-L28HX2/KDL-L30HX1）

壁側に寄せて設置する

壁寄せスタンドは、壁側に寄せて使用することを目的として設計されています。
転倒による事故を防ぐため、壁寄せスタンドは、必ず壁側に寄せて設置してください。



SU-LC1

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかしまちがった使いかたをすると、火災・感電・転倒・落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

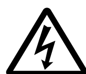
取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒・落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

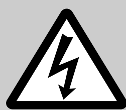


この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号			行為を禁止する記号	行為を指示する記号
 火災	 感電	 注意	 禁止	 指示







下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下により死亡や大けがの原因となります。

壁寄せスタンドにテレビを載せた状態で、テレビにぶら下がらない

テレビが転倒して、大けがが、死亡などの原因となります。

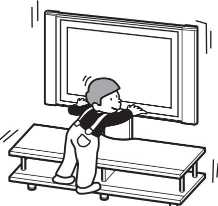




棚板の上に乗ったり、棚板の間に入って遊ばない

お子様が棚板の上に乗ったり、棚板の間に入って遊んだりすると、棚板が割れたり、テレビが倒れて、大けがや死亡の原因となります。





載せる機器は、指定の質量を超えないようにする

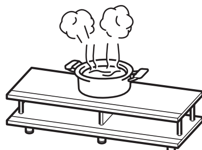
指定の質量を超えると、棚板が変形したり割れたりして、けがの原因となることがあります。



過熱した鍋、湯沸しなど熱いものを置かない

棚板が変形したり割れたりして、けがの原因となることがあります。また、壁寄せスタンドを傷める原因となります。





テレビを持って動かさない

壁寄せスタンドを移動させるときは、テレビ本体を持たずに壁寄せスタンドを持って動かしてください。



傾いた床面に設置しない

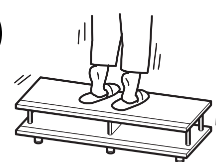
傾いた床面に設置すると、壁寄せスタンドが転倒したり、設置している機器が落下したりして、けがの原因となることがあります。



踏み台にしない

倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

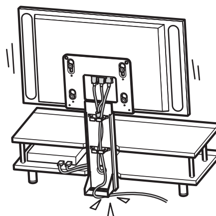




テレビや収納機器のコードをはさまないようにする

- テレビなどを壁寄せスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまないようにする。
- 壁寄せスタンドを動かすとき、電源コードを踏まないようにする。
  コードに傷がついて火災や感電の原因となります。







下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

指定のテレビ機器以外のものを載せない


禁止

- この壁寄せスタンドは指定のテレビ専用です。指定外のテレビや重い物を載せると、すべって落ちたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
- 指定の機器以外のもの（陶器や花瓶など）は置かないでください。

収納機器を設置したまま動かさない


禁止

機器を設置したまま、壁寄せスタンドを動かさないでください。棚板が割れたり機器が落下したりして、思わぬ事故の原因となります。

固くて平らな床面に設置する


禁止

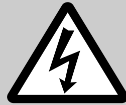
設置場所は、固くて平らな床面にしてください。設置場所によっては壁寄せスタンドの変形や傾きが生じることがありますので、下記のことをお守りください。

ー 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置くときは板など固い物を敷く
ー 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
ー 高温多湿の場所や屋外に置かない

壁寄せスタンドを組み立て、ディスプレイを取り付ける




火災

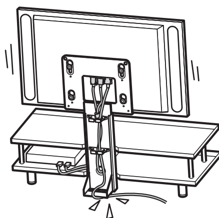

感電

下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒・落下により死亡や大けがの原因となります。

テレビや収納機器のコードをはさまないようにする


禁止

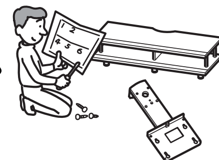
- テレビなどを壁寄せスタンドに載せるとき、電源コードをはさみこまないようにする。
- 壁寄せスタンドを動かすとき、電源コードを踏まないようにする。
  コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



組み立ては、手順に従ってしっかり組み立てる


注意

ネジがゆるんでいたり抜けていると、壁寄せスタンドが歪み、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。



設置は2人以上で行う


注意

ディスプレイを壁寄せスタンドに設置するときは、2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めたり、けがの原因となることがあります。

転倒防止の処置をする


注意

転倒防止の処置をしないと、地震などにより、ディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。メインブラケット上部の転倒防止金具にワイヤーなどを通して壁に取り付け、壁寄せスタンドを固定してください。

手順 1：組み立てに必要な部品を確認する

組み立てる前に⊕ドライバーをご用意ください。

名　称	数 量	名　称	数 量	名　称	数 量
本体	1	スペーサA	3	M6ネジ（長） M6 × 90 mm	3
				M6ネジ（短） M6 × 60 mm	3
支柱		スペーサB	2	M6ネジ用ワッシャー	6
		はずれ防止ネジ M5 × 20 mm	2	M6ネジ用 スプリングワッシャー	6

手順 2：壁寄せスタンドを組み立てる

1 本体に支柱を取り付ける。

❶ スペーサA（3本）を支柱の上部3か所の穴に差し込む。

❷ 本体と支柱のネジ穴を合わせる。

❸ M6ネジ（長）とM6ネジ（短）に、先ずM6ネジ用スプリングワッシャーを、次にM6ネジ用ワッシャーを入れる。

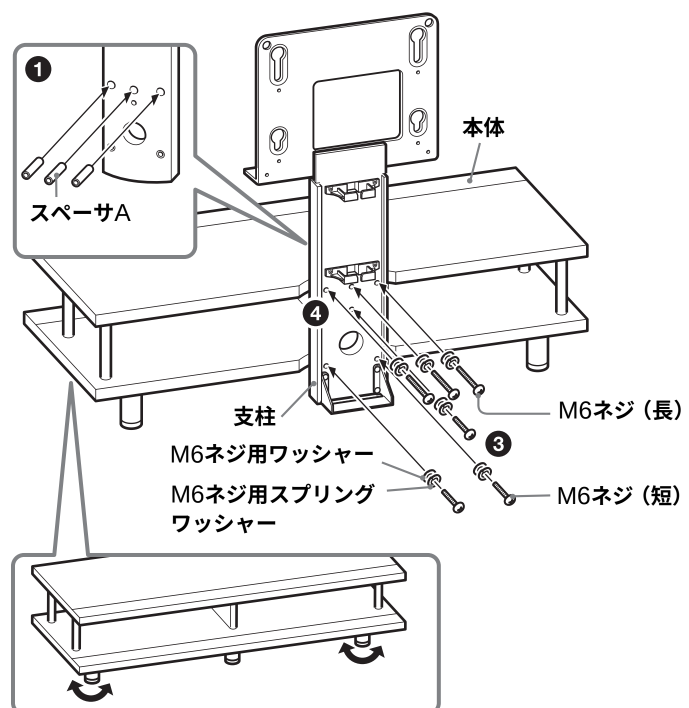
❹ 上部3か所のネジ穴にM6ネジ（長）を、中央部1か所のネジ穴と下部2か所のネジ穴にM6ネジ（短）を入れてから本体と支柱を固定する。

ご注意

- 作業は2人以上で支えながら行ってください。
- 6本のM6ネジで一度仮留めをした後、しっかり締め直してください。

⚠注意

電動ドライバーで締め付ける場合、締め付けトルクはおおよそ2.45 N·mに設定してください。インパクトドライバーは使わないでください。
インパクトドライバーや指定外のトルク設定をした電動ドライバーを使用するとネジを過大なトルクで締め付けることになり、部品やネジを破壊し、製品が落下してケガの原因となります。



前方の左右にある2本の足を回すと、本体の角度を調節できます。それ以外の3本の足は、接地面とのすき間を調節するときに使用します。

ご注意

回しすぎると足が取れます。

2 スペーサBを貼り付ける。

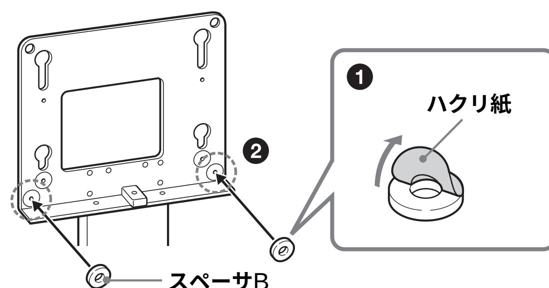
❶ スペーサB（2個）のハクリ紙をはがす。

❷ スペーサBを指定の2か所に貼り付ける。

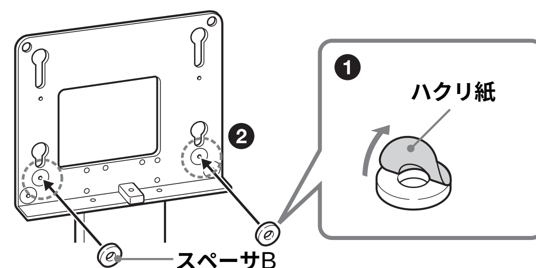
ご注意

スペーサBで貼り付け箇所のネジ穴をふさがないようにしてください。ネジ穴をふさぐと、はずれ防止ネジでディスプレイを固定できなくなります。

KDL-L30HX1



KDL-L32HX2/KDL-L28HX2

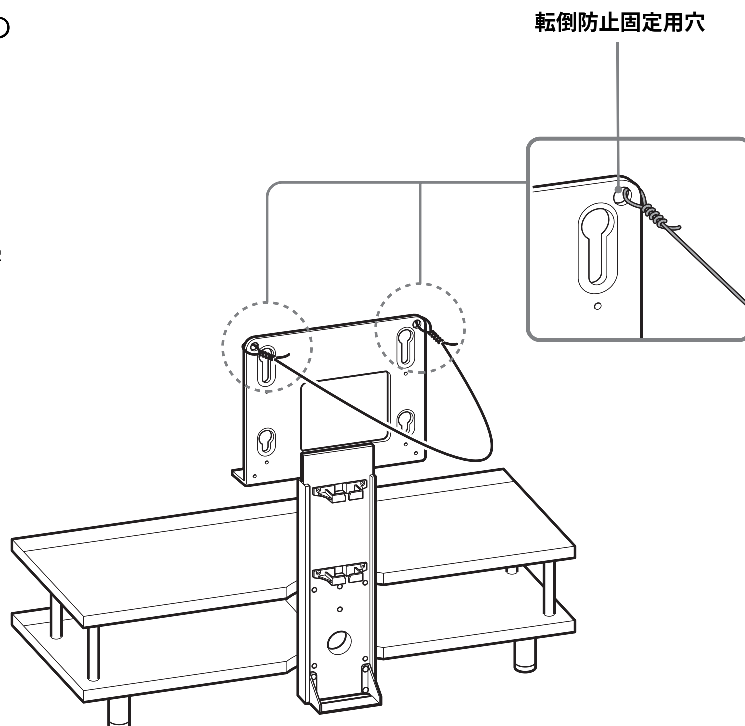


3 転倒防止処置の準備を行う。

支柱上部の転倒防止固定用穴(2か所)に市販のワイヤーなどを通す。

⚠警告

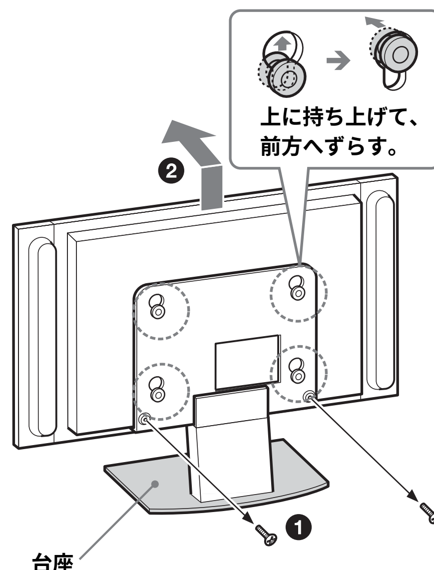
転倒防止の処置をしないと、地震などによりディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。支柱上部の転倒防止固定用穴（2か所）にワイヤーなどを通して、壁寄せスタンドを壁に固定してください。



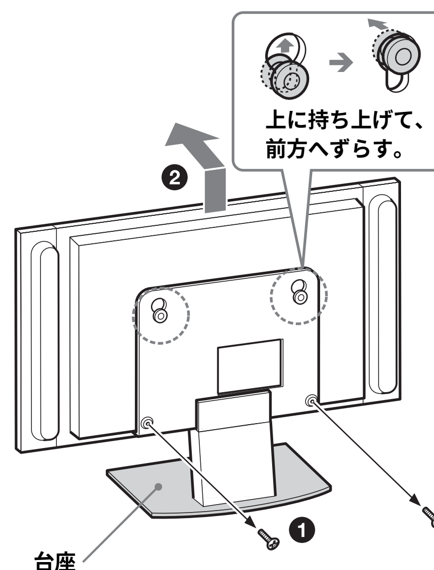
手順 3：テーブルトップスタンドからディスプレイをはずす

取りはずすディスプレイにより、作業の方法が違います。それぞれの製品ごとの手順をご覧いただき、取りはずし作業を進めてください。

KDL-L30HX1	❶ テーブルトップスタンド下部の2本のネジをはずす。 **ご注意** 作業は、ディスプレイを立てたままの状態で行ってください。 ❷ テーブルトップスタンドの台座部分を押さえ、2人以上でディスプレイを持ち上げてから、前方へ移動させ、テーブルトップスタンドからはずす。 **ご注意** • 作業は、必ず2人以上で行ってください。 • テーブルトップスタンドを押さえないでディスプレイを持ち上げると、テーブルトップスタンドが同時に持ち上がることがあり危険です。



KDL-L32HX2 KDL-L28HX2	❶ テーブルトップスタンド下部の2本のネジをはずす。 **ご注意** 作業は、ディスプレイを立てたままの状態で行ってください。 ❷ テーブルトップスタンドの台座部分を押さえ、2人以上でディスプレイを持ち上げてから、前方へ移動させ、テーブルトップスタンドからはずす。 **ご注意** • 作業は、必ず2人以上で行ってください。 • テーブルトップスタンドを押さえないでディスプレイを持ち上げると、テーブルトップスタンドが同時に持ち上がることがあり危険です。



手順4： ディスプレイを壁寄せスタンドに取り付ける

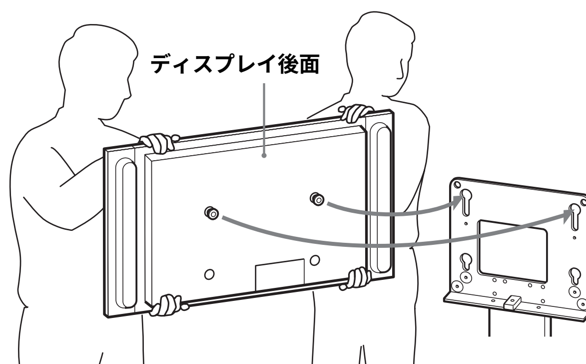


すべての作業が終わるまで、電源コードをコンセントに接続しないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、コードが傷ついて火災や感電の原因となることがあります。また、電源コードやディスプレイに引っかけると、転んだり倒れたりしてけがの原因となることがあります。

1 ディスプレイを壁寄せスタンドに固定する。

❶ ディスプレイの上下両端を2人以上で持って、ディスプレイ後面のフックを支柱の穴に差し込み、2か所の穴に2つのフック（KDL-L30HX1型ディスプレイは4つのフック）が引っかかっていることを確認する。

❶



（イラストのディスプレイはKDL-L32HX2です。）

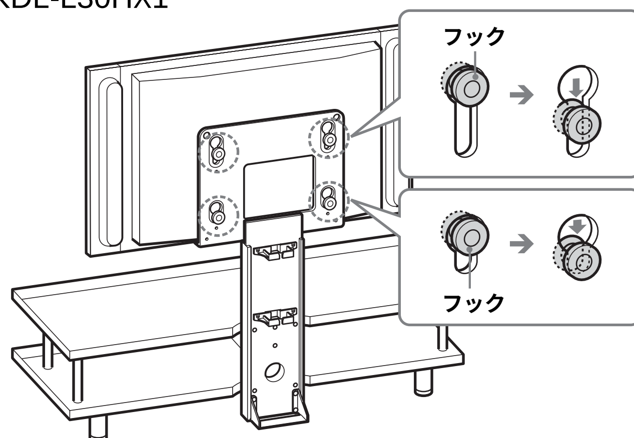
❷ 支柱の穴に差し込んだフックを、まっすぐ下におろす。

ご注意

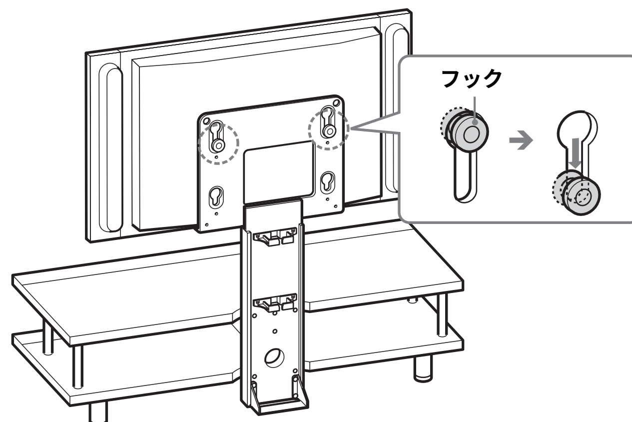
- KDL-L30HX1型ディスプレイ下部のフック（2つ）は、穴の底までしっかりと差し込んでください。ディスプレイ上部のフック（2つ）は、穴の底まで差し込むことはできません。取り付け後は、ディスプレイが平行にかかっているかご確認ください。
- KDL-L32HX2/KDL-L28HX2型ディスプレイのフックは、穴の底までしっかりと差し込んでください。取り付け後は、ディスプレイが平行にかかっているかご確認ください。
- ディスプレイを取り付けるときは、壁寄せスタンドが動かないように注意してください。

❷

KDL-L30HX1



KDL-L32HX2/KDL-L28HX2



❸ はずれ防止ネジ（2本）を使ってディスプレイを固定する。

⚠警告

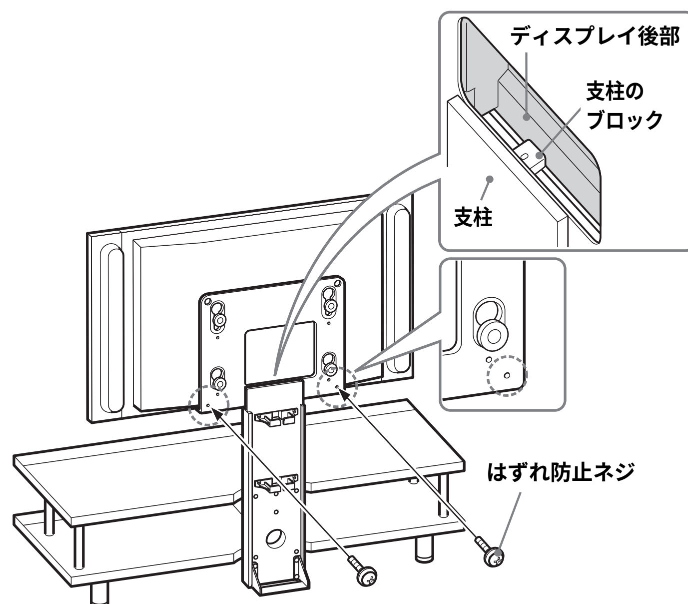
はずれ防止ネジ（2本）を使わないと、ディスプレイが落下し、けがの原因となることがあります。

ご注意

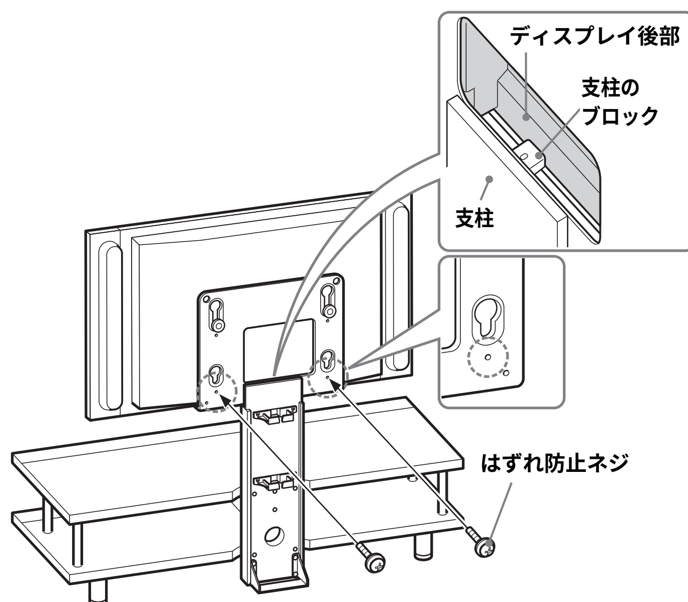
支柱のブロックとディスプレイの後部をしっかりと突きあててください。
ディスプレイが確実に固定されます。

❸

KDL-L30HX1



KDL-L32HX2/KDL-L28HX2



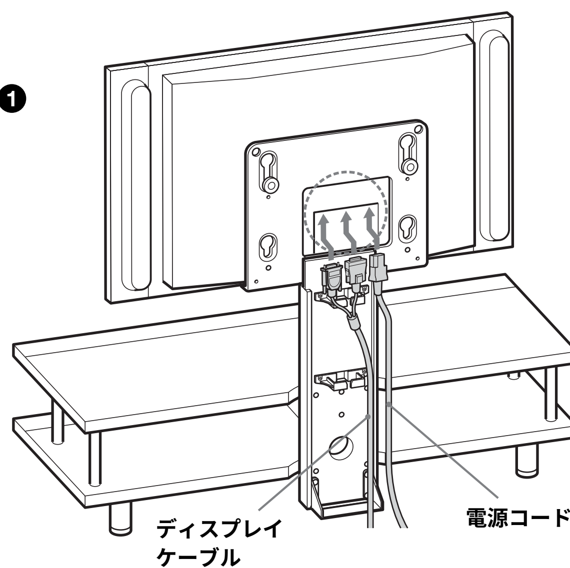
2 電源コードおよびディスプレイケーブルを固定する。

❶ ディスプレイに付属の電源コードおよびディスプレイケーブルをつなぐ。

ちょっと一言

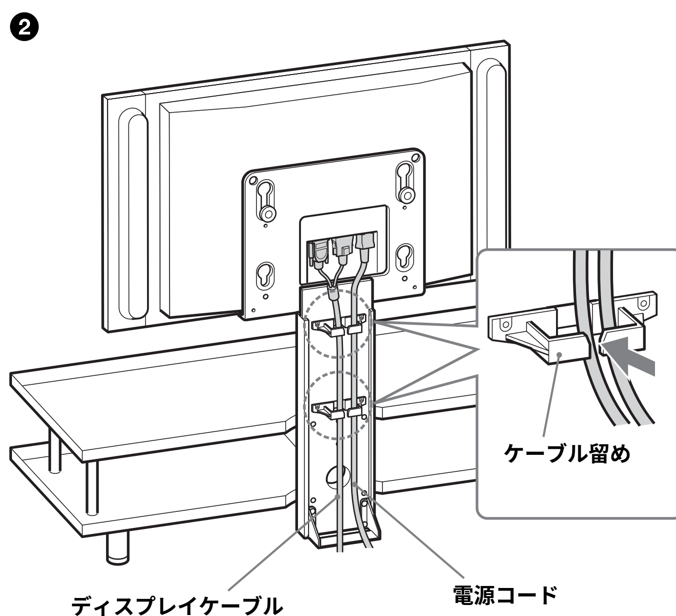
電源コードおよびディスプレイケーブルの接続については、液晶デジタルテレビ（KDL-L32HX2/KDL-L28HX2/KDL-L30HX1）の取扱説明書をご覧ください。

❶

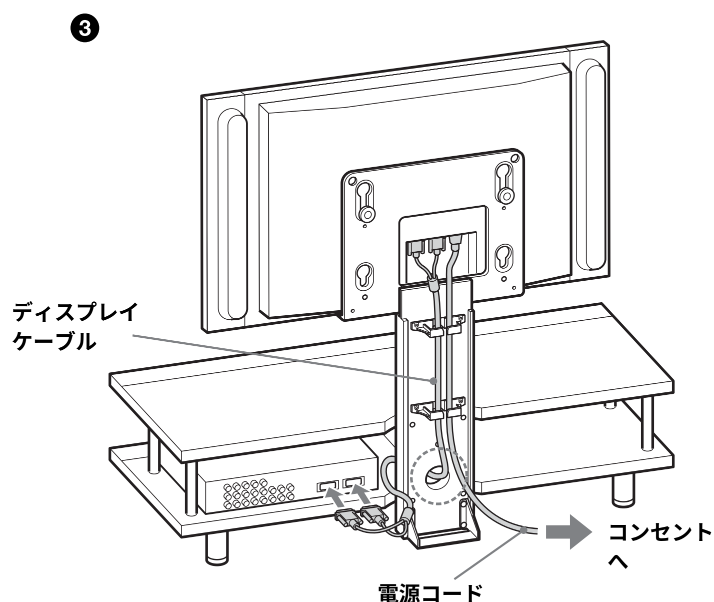


（イラストのディスプレイはKDL-L32HX2です。）

❷ ケーブル留めに電源コードおよびディスプレイケーブルを押し込むように通して、コード類を留める。



❸ 支柱下部の穴にディスプレイケーブルを通して、前方に引き出す。



3 転倒防止の処置を行う。

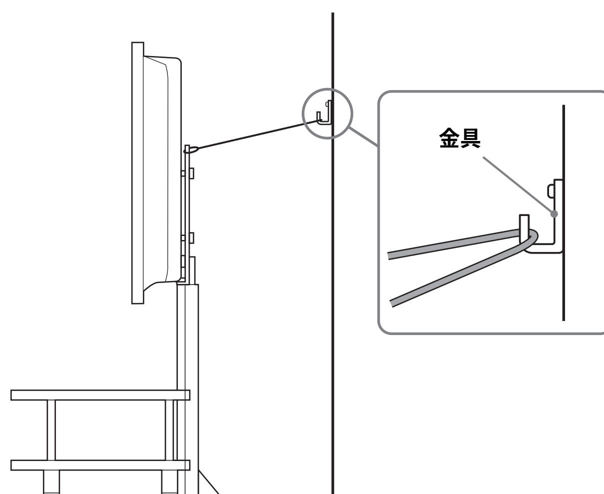
手順2の**3**で準備したワイヤーを市販の金具などに固定する。

⚠警告

転倒防止の処置をしないと、地震などによりディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。支柱上部の転倒防止固定用穴（2か所）にワイヤーなどを通して、壁寄せスタンドを壁に固定してください。

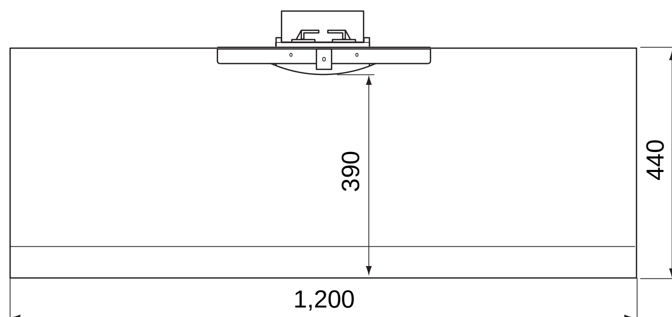
ご注意

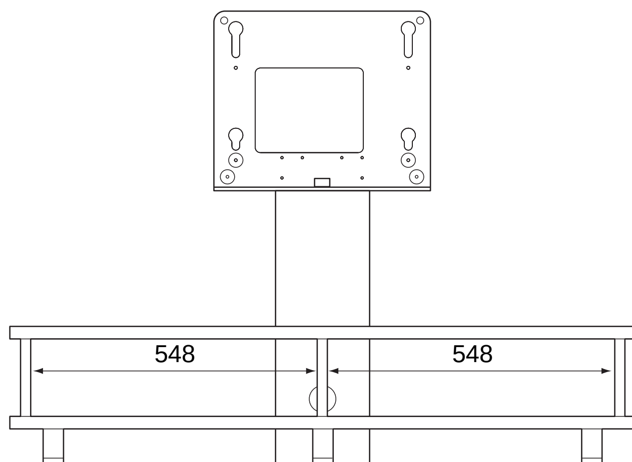
ディスプレイを取り付けた後で壁寄せスタンドを動かすときは、引きずらないようにしてください。接地面を傷つける恐れがあります。

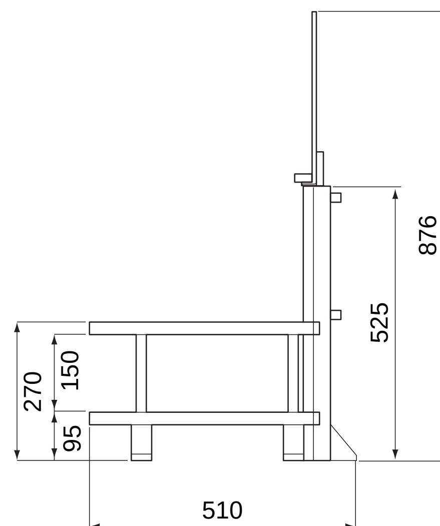


主な仕様

単位：mm
質量：29 kg



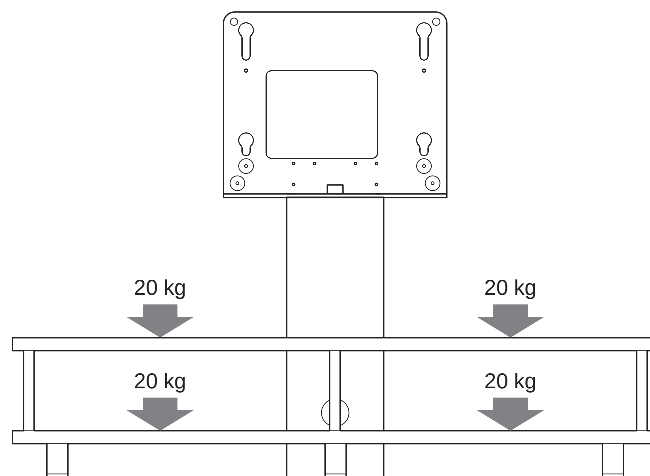




本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

積載量についてのご注意

それぞれの棚板には、右図に示す質量以上のものを載せないでください。棚板を壊す恐れがあります。



● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター
● ナビダイヤル ········ 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）
● 携帯電話・PHSでのご利用は　03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）
● FAX ···················· 0466-31-2595
受付時間：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35



この説明書は100％古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan